



編集・発行
熊日多良木販売センター
(代)小出忠紹
尾方隆博 石田敏郎 小出堅太郎
球磨郡多良木町大字多良木356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
http://www.taragi.com/



ひなまつり 多良木町 散歩道

2月15日から「多良木町 ひなまつり散歩道」が開催され、午前中に開催式が行われました。今回で5回目、期間は3月16日までです。笑美寿のびる会メンバーが中心となり、「空き店舗対策がきっかけで始めましたが、町の活性化につながれば」と会長の多武悦子さん。



3月1日には、ひな祭りイベントとして、町内の幼稚園、保育園児らによるお遊戯会等も予定されています。またメイン会場の交流館石倉でも数多くの雛人形が飾られています。廃油石鹸(¥100)やエコクラフトかご(¥800~¥1000)などの手作り品の物販もあります。

暦のうえでは春ですが、まだまだ寒さが続く日々。

町内30カ所以上の会場にて雛人形に彩られた多良木町を散策して春を感じてみるのもいいですね。

県産食材・食品プレゼント

- 第1回応募分
A賞：天草灘一夜干しセット
B賞：果物セット
C賞：大阿蘇黒豚の角煮
- 第2回応募分
A賞：黒毛和牛ロース焼肉セット
B賞：チーズ&ミート4点セット
C賞：海藻セット

第1回応募分:2月16日(土)~3月15日(土)まで
第2回応募分:3月16日(日)~4月15日(火)まで

応募資格

懸賞締切日の翌月を含む3ヵ月以上の熊日購読契約をされる方。または、懸賞締切日の翌月を含み3ヵ月以上熊日をご購読されている方。

応募方法

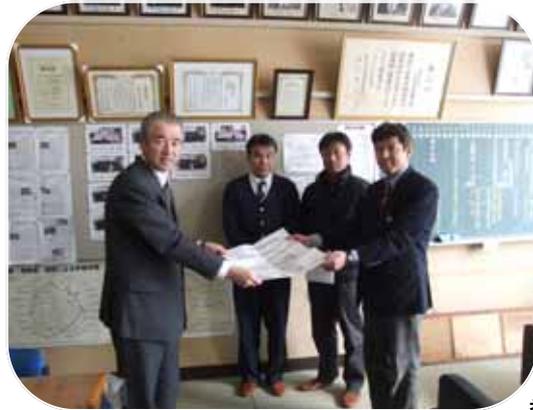
熊本日日新聞掲載のキャンペーン広告内「応募シート」に必要事項をお書きの上、はがきに貼り、ご応募ください。または、くまにちコム (<http://kumanichi.com/shokuko/>) からの応募もできます。
お問い合わせ：42-3355
熊日多良木・岡原販売センター



果物セット

毎年・恒例の同窓会

母校の多中へ折り畳み椅子を寄贈



多良木中学校卒業30周年同窓会が開かれるようになって今年で14年目。今年は昭和52年度卒業生の同窓会が正月に開かれ、その時の余剰金で中学校に不足していた折り畳み椅子を寄贈されました。同窓会当日は、恩師を含む114名(遠くは北海道より)の方が参加され「もう終わり？」

と言われた人が何人もいたように、盛大な賑わいでした。

2月8日の贈呈式には分部信輝実行委員長始め仲川広人さんと針馬充則さんの実行委員が同中を訪問し、一井武明校長先生に「わずかですが、色んな学校行事に役立てて下さい」と目録を贈呈しました。校長先生からは、「多良木大好きをモットーに子どもたちを育てています。頂いた椅子は大事に使わせていただきます」と御礼の言葉を述べられました。



多良木中学校の2年生3クラス(それぞれ1日ずつ)が、多良木町食生活改善推進員協議会(会長：緒方征枝さん他27名、愛称；ヘルスマイト)のメンバーから、

「つぼん汁」「ねったんぼ」「柿なます」といった郷土料理を調理実習形成で習いました。「地産地消」をキーワードに『地元食材』『旬のもの』を取り入れた郷土料理は「体にも環境にも良いですよ」とヘルスマイトさんからの説明も交えながら手際良く調理していきました。出来上がったものを、全員で試食しましたが、担任の先生方をうならせる程の出来に、満足そうな表情を浮かべていました。

2年1組の瀧森修平君は「酢物で柿は意外だったけど、思ったより合って、新たな発見ができました。貴重な体験ができたです。」と話していました。また、会長の緒方さんは「現在『食』の大切さを問われる時だからこそ、より一層それを伝えていくには、仲間を増やして、頑張っていきたい」と抱負を語られ、併せてメンバー募集をされているそうです。

郷土料理にチャレンジ

多良木中学校

木希記

駆け足で過ぎるといわれる二月。今年(平成20年)は二月十九日(例年)であるものの、例年より一日早く、二月十八日(例年)である。日ある月と比べても、数字は損をしないという感じがします。同じ失敗を繰り返すのと同じ言葉が出てこない。二の句が継げぬ、うそを言うのが一枚舌を使ふ、などなど。ちよつと思ひ出すだけでも出るは出るは手元の辞典をめくったら二重人格、二束三文なんて言うのもありま。心ならずも単身赴任を強いられるご家庭など二重生活で、家計のやりくりも大変です。ね。とかくマイナスイメージが付きまとう。二つで構成されるもの安定や協調を表す事例も目立ちます。両手両足とか車の両輪など、二の字を使つてなくとも意味は二。予定していた以上の利益を上げる一石二鳥など、時にはあやかりたいもの強いのは一枚腰、い男は二枚目。少数派ながらもいい意味に使うと、繰り出す二次会。え、そんな余裕なんてない? ごもつとも。(X)



多良木ロータリクラブ社会奉仕事業

好天に恵まれたクリーン作業



2月24日（日）多良木ロータリクラブ（下田又光会長）は、ボーイスカウト球磨三団（那須弘文団長）と合同で多良木町の球磨川堤防（中鶴橋～天子橋）と田代ヶ丘公園でクリーン作業を行いました。

約30名の参加で2時間ほどで作業を終え、役場に持ち帰り、分別して終了しました。軽トラックに一杯のゴミに子どもたちもびっくり。

（クリーン作業に参加したみなさん）
下田又光会長は「皆様のご協力により清掃作業奉仕ができました。今後も地域に役立つよう努めたいと思います。」話されました。その後、ボーイスカウトの皆さんは、地域交流館 石倉で行われる「動く環境教室」に参加しました。水俣市にある県環境センターから浅野道明環境指導員を先生に、ゴミ問題、球磨川の水を使っての科学実験を行いました。先生は、「ゴミとして捨ててあった1の牛乳パックは宝物なのです。このひとつのパックで、1個のトイレットペーパーが出来るのです。大切な資源です。」と教えて頂きました。



（先生に話を熱心に聞くボーイスカウトの子どもたち）

大盛況の「くまよう市」 in サンロードシティ

2月16日（土）錦町サンロードにて高等部の作業学習製品販売を行いました。

高等部では作業学習をとおして働く力、生活する力（作業能力、働く生活への意欲づけ、基本的なルールやマナー）を高める学習を行っています。生徒は「窯業」「農園芸」「工芸」の作業班に別れ分担・協力して学習に取り組み、丹精こめて作った製品をお客様に販売することでこの学習の最後の仕上げとなります。



販売当日は多くのお客さんに買いに来ていただいて、大きな声であいさつしたり笑顔での接客を心掛けましたが、たくさんの製品を販売できた喜びや達成感とともに物を売る難しさも感じ、校内作業では学ぶことができない貴重な体験ができました。

（県立球磨養護学校提供）



園児紹介

光台寺保育園
パンダ組

光台寺保育園 園長：橋永素子さん 担任：小口智子さん
女の子の多い組ですがみんな元気で活発です。発表会の練習をやっていて舞台上がるのを楽しみにしています。

寒行浄財の一部を寄付
延壽寺

多良木町の日蓮宗延壽寺（松本朝顯住職）では、毎年大寒の入りから節分までの2週間、每晚7時から恒例の寒修行（寒行）を実施しておられますが、今年も1月21日から2月3日まで、20名余の檀信徒と共に寒行が行われました。

寒行では寒風吹きすさぶ中うちわ太鼓を叩き、南無妙法蓮華經のお題目を唱えて町内外をくまなく回り、世界の平和、地域社会の安寧、各戸の家内安全、参加者の罪障消滅・心願成就を祈ります。

修行の途中では住民の方々が門先で合掌して寒行を迎え、浄財のお賽銭を奉納されています。

今年も寒行を終えた松本朝顯住職と松本裕顯副住職参加者の前田透さん、後藤義克さんが代表して去る2月13日に多良木町役場を訪れ、松本照彦多良木町長に寒行浄財の一部五万円を寄付されました。延壽寺では毎年寒行浄財の一部の寄付を続けられています。



寒行浄財を贈られる松本朝顯住職

多良木警察署だより

管内における交通事故情勢は、事故総量（事故発生件数）が減少傾向にあるものの、未だに死亡事故や重傷事故が相次ぐなど厳しい情勢下にあります。

このような中、多良木警察署では、平成20年の事故抑止目標として

事故死者数 2人以下

事故負傷者数 70人以下

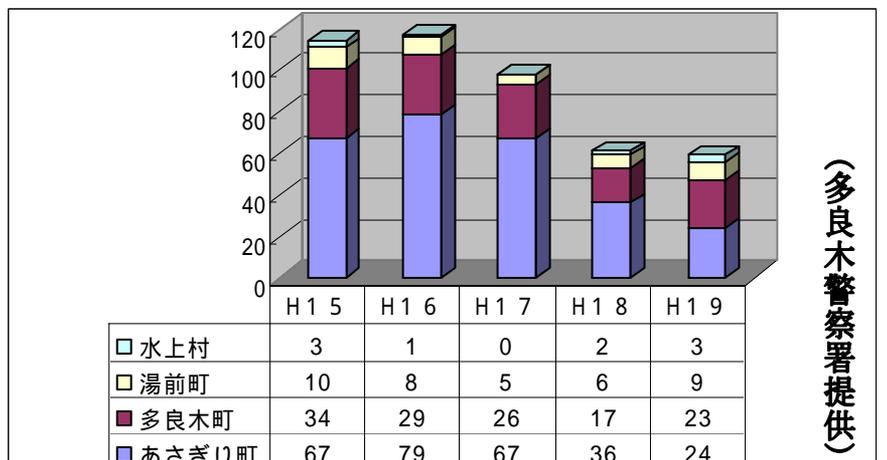
を目指し、「地域社会との連携と協働」を踏まえながら事故抑止のための取り組みを進めて参ります。

悲惨な交通事故を防止するためにも、住民の皆様のご協力をお願いします。

なお、事故防止の柱は次のとおりです。

- 高齢者に対する効果的な交通安全教育の推進
- 被害軽減対策(全ての座席のシートベルト着用)の推進
- 事故に直結する悪質な交通違反の取締り強化

【過去5年間の町村別人身事故発生状況】



（多良木警察署提供）